



大田区議会議員(3期目)

大田区へ政策提言

近況報告

平成28年度予算が確定しました。

一般会計：2,573億6,425万7千円となり、前年度と比べ2.9%の増となり、これまでで最大規模となりました。重点課題は少子高齢化による人口構成の変化への対応です
詳細は次号にて報告します。

TOPIX

報告：防犯カメラ設置のガイドライン(指針)策定

議会質問：東京オリンピック・パラリンピックに関わる予算と計画について

その他の質問

- ・保育政策・福祉政策と住宅政策の互換性を考える
- ・指定管理と行政運営の関わり
- ・区民(市民)活動が行政サービスの穴を埋める
- ・区民活動支援施設「こらぼ大森」について
- ・災害時の医療支援体制と医薬品備蓄について など

皆様のご意見をお聞かせ下さい

ゆもと良太郎 プロフィール

39歳2男の父

昭和51年5月10日

大田区大森生まれ(A型)。大森幼稚園・大森第五小・日大三中・日大三高を経て明治大学商学部貿易コース卒。大学在学中より都議会議員秘書となる

平成15年4月

大田区議会議員選挙に自由民主党公認若干26歳で初出馬、初当選(5536票)。66候補者中、新人1位

平成19年4月

大田区議会議員選挙にて2期目の当選(5419票)

平成22年6月

自由民主党離党

平成27年4月

大田区議会議員選挙において3期目の当選(5523票)。65候補者中7位、完全無所属ではただ一人の当選者。

大田区議会議員 ゆもと良太郎事務所

〒143-0011 東京都大田区大森本町2-31-10

TEL.03-3765-1464 FAX.03-3765-1482

<http://www.yumoryo-otacity.jp> info@yumoryo-otacity.jp

防犯カメラ設置に関わるガイドラインが策定されました

再三にわたり、街の治安維持と犯罪抑止力向上に向けて防犯カメラの設置推進を議会でも求めて参りましたことを、ゆもと通信6号で皆様にお知らせをいたしました。

議会にて質問をして

- ・大田区は防犯カメラの設置をどの課が責任をもって対応するのか
- ・無作為に防犯カメラの設置は行えないので一定の設置基準を設けること

以上2点が大きな課題として抽出をされました。

その後も議会や防災・安全対策特別委員会や本会議にて早期の課題解決と体制の整備を求めて活動をして参り、

その結果

2015年12月に「大田区 防犯カメラ設置のガイドライン」が策定され、カメラの設置基準が明確になりました

設置基準は原則的に基本的な設置者は住民全体（町会・商店街）とし、大田区は補助金により設置補助を行う事としました。

しかし、既に複数回に渡り犯罪が発生しているなどの危険な箇所という住民の共通理解があり、尚且つ警察もその危険性を指摘している場所で、予算上の都合により住民主体（町会・商店街）による設置が迅速に行えない様なケースに対しては、区が主体となった設置も行うというものです。

また、大田区立の小学校通学路、一校につき5台のカメラの設置を進めることも新たに決定し整備に着手しております。

杉並区では区が主体となり危険個所に246台のカメラ設置を行っている事を考えると今回の大田区の対応は若干、消極的な対応との意見もありますがまずは一步前進といった所だと思えます。

複数会派の議員から「もっと区が主体となってカメラ設置を進めるべきである」との意見も聞こえておりますし、他の市区町村と比較をし、治安格差のデメリットを大田区が負わない様に今後も取り組んで参ります。

Q. オリンピック・パラリンピックの為ににかかる費用はいくら？

2020年7月24日からのオリンピック・パラリンピック開催まであと4年半となりました。高まる期待と共にオリンピックメイン会場に関わる一連の騒動に端を発し、青天井に予算が計上される事への懸念など不安な側面も指摘をされております。

オリンピック・パラリンピックの開催期間はオリンピック**17日間**、パラリンピック**13日間**であり、この数日間のみ開催されるビッグイベントの為に多額の予算投入をする事が成熟された都市である東京にとってどの程度の意義があるのか、賛否が分かれるのも事実であります。

基盤自治体の行政課題は、少子高齢化・女性の社会進出・治安・防災と多岐にわたります。

オリンピック・パラリンピックの為にどの程度の予算を割くのが妥当なのかを考えなければなりません。そこで、

- ・財政運営の観点から区財政に与える影響をどの様に考えるか？
- ・今日までに東京オリンピック・パラリンピック対応にかかった予算と、今ある計画を実行した場合にかかる予算はどの程度になるか？
- ・東京オリンピック・パラリンピック開催後までにかかる予算はどの程度になるか？

A, 東京オリンピック・パラリンピックアクションプログラムを作成し計画的に準備を進めている

つまり予定を立ててお金を使ってますという事のようにです。

- ・一次計画として23事業 3億8,554万円
- ・二次計画として13事業 2億3,907万円

合計36事業 6億2,461万円と見積もっているとの答弁がありました。区財政は区民みんなのお財布です。大田区の皆さんにも大田区のお金について情報共有をして頂ければ……と思ひて報告しました。

誤解のないように一言添えさせていただきます。私、ゆもと良太郎は2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を応援しております